

「まちボラ講座」はこんな内容

「ボランティア」のハードルを下げ、まち全体の「おもてなし度」をアップさせて、大勢の人に『千葉に来て良かった』と思ってもらうのが、この講座のねらいです。「千葉に来た人に親切にしたい!」という気持をお持ちの方、一步を踏み出すきっかけや、ちょっとしたポイントを知りたい方、ぜひご参加ください。

●主な講師



小亀さおりさん

(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会所属
2014年・2015年千葉市観光PR大使。また千葉市観光プロモーション課海外集客班にて、インバウンド誘致にあたる。シンガポール航空国際線客室乗務員の経験や海外在住経験を活かし、気配りや、国際マナー、コミュニケーションの取り方等を指導。



高山功一さん

一般社団法人千葉市身体障害者連合会 会長、千葉市身体障害者福祉会 会長 千葉市身体障害者相談員。
1969年川崎製鉄(当時)千葉製鉄所の圧延機に巻き込まれ右上腕を切断。勤務を続けながら、千葉市身体障害者福祉会理事、広報委員、ソフトボールチーム監督などを歴任。講演など幅広く活動。



奥山 淳さん

メジカラネット代表理事、視覚障害ガイドヘルパー養成当事者指導者、(特非)千葉市視覚障害者福祉協会、エコメッセ千葉実行委員・運営委員、グリーン購入ネットワーク理事、エコ印刷研究会代表幹事。コミュニケーションをデザインする活動を通じて、視覚障害者を含めた環境作り、まちづくりを応援。一般の方向けの「目の不自由な人を手助けしてみよう」ガイドブック等を作成、実技講習を実施。

「講義」と「実習」の2本立てで修了証発行

■「講義(座学)」・・・最初に1回、必修です。

「講義」は室内で行います。ボランティアの基本的な心構えを知り、障害のある方や外国人、観光やビジネスで県外からやって来るお客さん等、多様な人とコミュニケーションをとる際のノウハウ等を具体的にお伝えします。また役に立つ情報の入手方法など、まちなか案内の基礎をコンパクトに学べます。

《内容》ボランティアの基礎知識、外国からの来街者(インバウンド)の見通し、
コミュニケーションのノウハウ、障害者とのコミュニケーション、
千葉市の成り立ち、千葉市の観光資源、情報の入手方法と最新ツール 等

■「実習」・・・都合の良い日を選んで2回体験してください。

「実習」はイベントなどで実際に人と接してコミュニケーションをとる体験学習。年に数回実施しますので、都合のよい日に参加できます。年度をまたいでもかまいません。実習に2回参加すると講座は修了。バッジ、修了証カード、修了証書が受け取れます。